働く仲間のたすけあい

共済コーナー

「個人賠償責任共済」

年間1,000円で

賠償額1億

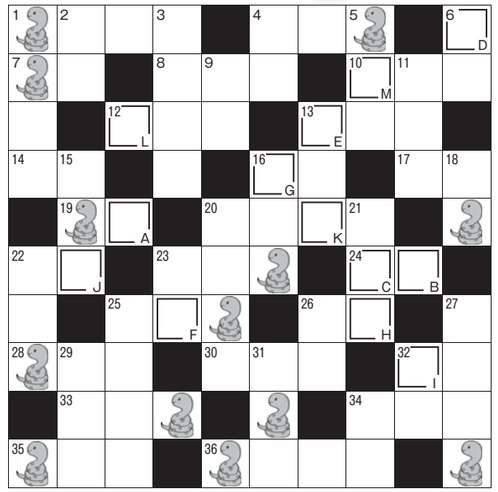
個人賠償責任共済の募集時期が近づいてまいりました。2013年4月1日効力開始契約の継続と新規募集が始まります。掛金は年間1000円で、賠償額は1億円です。

組合員本人の加入で、同居で生計を共にする家族全員を守ってくれます。（生計を共にする別居の未婚の子どもも含まれます）

近年、自転車事故に関わる場合など、損害賠償請求に発展するケースが増加傾向です。

「セット共済」と「個人賠償責任共済」の加入で病気やケガへの備え、また生活の中で起こる賠償事故に備えましょう。

新春クロスワードパズル



ワク内に今年のエト（巳年）にちなんで13か所の蛇のイラストが入っています。その部分は意味に関係なく**ヘビ**または**ジャ**と読み替えてください。クロスを解いたのち、A～Mのアルファベット順に並べてできる言葉を答えてください。

（タテとヨコで読み方が異なる個所もあるのでご注意を）

出題者：山本汎昭さん

タテのカギ

❶人の制御に従わない婦人や娘
❷夫は○○をいたわりつつ…
❸いざなうこと、誘うこと
❹ワニスの略称
❺ひがんで悪く推量すること
❻次期大臣の○○を狙う
❾○○の上にも3年
⓫♪月も知ってるおいらの○○○（「王将」）
⓭♪○○○の中でも月見はできる（「雪山賛歌」）
⓯キジ科の鳥で雄の羽は極めて美麗
⓰寺社の社とは
⓲召使の若者。従者。太郎○○○
⓴物音もせずしーんとした状態。○○○○を破る
㉑兄も器用だが弟はその○○をゆく器用さだ
㉒その病院には多数の○○○が訪れる
㉓あたたかなこと。○○をとる
㉕陰気でうっとうしいこと。○○○○な表情
㉖○○食う虫も好きずき
㉗修行者、修験者。役の○○○○
㉙しおからい味、塩分。○○○が足りない
㉛シャコの仲間、有明海の干潟に生息
㉜夕ごはんにします？それともお○○？
㉞次の○○に答えよ

ヨコのカギ

❶インドでよく見られる蛇を扱う大道芸
❹伊賀と甲賀が有名
❼山田さんの家に昨日お○○○した
❽和室用の脚のない背もたれイス
❿永世中立国として有名
⓬○○○の権兵衛
⓭臨時便と○○○便
⓮お前などの出る○○ではない
⓰大坂夏の○○
⓱直接。○○の取引、○○談判
⓳○○○原人、○○○更紗
⓴いちばんさき。列の○○○に立つ
㉒飛車○○抜きでたたかう
㉓おろち、うわばみ、とも
㉔○○を磨く、○○を競う
㉕山野等にひっそりと隠れ住む人
㉖長方形の面積＝○○×ヨコ
㉘よこしまなこころ
㉚穀物・落葉等を掻き寄せる竹製の道具
㉜天から○○○された才能
㉝♪陸の○○○○、慶応
㉞むだな骨折り。○○○に終わる
㉟ジャケットを略して
㊱年若く未熟な者

応募の締め切り／2月28日
正解と当選者の発表／2013年3月号の紙面に掲載

応募の方法

ハガキに「解答」「所属組合名」「氏名」「住所」を書いて、送ってください。ハガキの余白に紙面の感想、職場のできごとや近況などを一言書き添えていただければうれしいです。正解者の中から10人に図書カードをおくります。

なお、送っていただいたハガキは「仲間の声」として紙面に掲載させていただくことがありますのでご了承ください。

送付先

〒530―0041 大阪市北区天神橋1丁目13―15 大阪グリーン会館4階 大阪自治労連「おおさか自治体の仲間」編集部

11月号の解答「ソシキカクダイ」

マ	イ	コ	■	イ	ツ	ダ	ツ
ク	シ	ヤ	ミ	■	イ	ン	ガ
シ	ン	■	ヤ	ミ	■	ト	イ
タ	■	メ	ダ	シ	ボ	ウ	■
■	イ	カ	イ	ヨ	ウ	■	チ
ツ	ミ	■	ク	ウ	■	イ	ヨ
イ	シ	ヤ	■	リ	ヨ	コ	ウ
シ	ン	ゴ	ウ	■	ソ	ウ	キ

11月号クイズの正解と当選者

2012年11月号「クロスワードクイズ」の正解は「ソシキカクダイ」でした。各職場から21通の解答をいただきました。つぎの5人のみなさんに図書カードをおくります。（敬称は省略）

▼小西由美（貝塚市職労）▼定克則（和泉市職労）▼角谷宏祐（東大阪市職労）▼野田喜彦（交野市職労）▼海部洋（吹田市職労）

仲間の声

■組合のいろいろな活動に共感してくれる仲間はたくさんいるけど、なかなかうちの組合に入ってくれないのが悩みですね。共通の要求実現へ向けてコツコツとがんばるしかないですね。たのしい話題も提供し、つながっていきながら。

中路　尚子（大阪市労組）

■いつも各ページ拝見しております。歴史跡めぐり（紹介）のコーナーは特に読ませていただいています。最近クリスマスイルミネーションを豪華にするおうちが多く、毎夜毎夜帰宅するまでにウキウキワクワクするのが楽しみです(^^)

小西　由美（貝塚市職労）

■現在、育休中です。11月から復帰するつもりでしたが、受け入れ保育所がなく断念!!保育所の充実を願います。

山本　望（岸和田市職労）

■先日、息子の彼女と顔合わせ。娘が1人増え、孫の顔を見られる日も近いのだろう。まだまだ現役と思っていたが、もうそんな歳になったのだなぁと感じた初冬であった。

角谷　宏祐（東大阪市職労）

■年をとるとクロスワードは解けても、字の並べかえが難しい。柔軟な発想ができなくなるのかな。今回はヒントにまどわされ2日もかかってしまいました。

杉谷　民治（寝屋川市職労）

ノーベル賞受賞者 ブックレビュー

「『大発見』の思考法」
iPS細胞 vs. 素粒子

山中　伸弥　著
益川　敏英
文藝春秋
830円（＋税）

昨年、iPS細胞を生み出した業績でノーベル医学生理学賞を受賞した山中伸弥教授と、ノーベル物理学賞受賞の益川敏英教授の、互いの研究・生き方に関する対談。山中「意外な実験結果に『驚き』、感動することがすべての始まり」、益川「目標は高く、行動は着実に」など学生時代、研究生活での体験など示唆に富む発言。第2章「無駄」が僕たちをつくった、第5章「うつと天才」では両氏の生い立ちや意外な素顔も興味深い。（巳）

「赤い高粱（こうりゃん）」

莫言 著　井口 晃 訳　岩波書店 1040円（＋税）

2012年のノーベル文学賞作家・莫言の1986～87年の作。

「1939年旧暦8月9日」「伝奇的な英雄」との書き出しに抗日闘争を想起する。しかし物語は複雑に展開し、美しい自然とは裏腹に、差別、暴力、怒り、悲しみ、そして愛情など人間の矛盾・葛藤が荒々しく描かれる。

侵略戦争と抗日闘争、そして文化大革命との相違は何なのか。人間の生と死を描く著者の直線的でない視点は、私たちに生き方を問うているようだ。（蟹）